

## 令和4年度新型コロナ緊急生活支援ネットワーク事業【箕輪町】

総事業費

6,597 千円

交付金額

3,298 千円

## 地域の実情と課題

- コロナ禍における経済的な支援として、町社会福祉協議会が行った令和2年度の緊急小口資金の貸し付け件数は140件、総合支援基金の貸し付けは150件にのぼっている。また、延長69件、再延長17件とコロナによる経済的な影響が長期化している。(R2年度)
- SOSネットワークが行っている生活困窮等に関する無料相談会には426人が参加(R2年度)
- 町が実施している困りごと相談の20%は外国人女性である。

## 目的・目標

- コロナ禍において孤独・孤立で不安や困難を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復することが出来るよう、町社会福祉協議会や民間団体の取り組みを活用し、きめ細かい継続的な支援を実施する。
- 町内で女性支援に取り組む団体同時の連携を深め、各団体の育成を図る。
  - ・町での生活に満足している人の割合 目標値80%
  - ・SOSネットワークによる相談会における相談件数 目標値150件

## 事業の特徴

- 町社会福祉協議会を「SOSネットワーク」の実施主体に位置付け、相談会実施の段取り等を主体的に行うとともに、同ネットワーク構成団体相互の連携強化を図る。
- 月2回のペースで相談会を開催し、相談者の状況に応じたきめ細かい支援を提供。
- 相談会をきっかけとして、これまでの体制では手が届きにくかった不安・困難を抱える女性に対し、継続的な支援を実施。

## 連携団体

箕輪町社会福祉協議会、上伊那医療生活協同組合、企業組合労協ながの、伊那谷みずなら法律事務所、町内企業、木下区、長野県上伊那生活就労センター「まいさぼ上伊那」

## 事業の効果

- 町での生活に満足している人の割合 目標値80% 実績83.1% (達成率103.8%)
- SOSネットワークによる相談会における相談件数 目標値150件 実績1,445件(達成率963.3%)
  - ・相談会を受け、福祉サービスの紹介を紹介し、支援につながった
  - ・相談会をきっかけとして民間事業者間の連携を図ることができた

## 今後の課題

相談会に寄せられた声を精査し、福祉政策に生かす必要がある。

## 相談会の開催

箕輪町社会福祉協議会を「SOSネットワーク」の実施主体に位置づけ実施。  
仕事や暮らしの困りごとについて、弁護士や医療相談員、社協の職員といった専門家が対応。  
また、食料や生活用品などの物資支援も実施。

月2回開催

共催：箕輪町、社会福祉協議会、  
伊那谷みずなら法律事務所、  
まいさぼ、上伊那医療生協など

SOSネットワークによる相談会における相談件数  
目標値150件 実績1445件

### 衛生用品無償配布

町内小中学校保健室などで防災備蓄在庫の衛生用品（生理用品、紙おむつ等）を無償で配布し、相談窓口への誘導

### 子ども食堂・無料塾

子ども食堂を利用することをきっかけに、相談窓口への誘導



新型コロナウイルスの影響で仕事や暮らしに困っていませんか？  
弁護士や医療相談員、社協の職員など専門家が対応します。  
生活や仕事、健康に関する心配などお気軽にご相談ください。  
食料や生活用品などの物資支援もあります。  
法律相談のみ予約制です。ご希望の方は事前に申込みをお願いします。

日時 3月 4日(土)  
9:00~11:00

3月17日(金)  
18:00~20:00

場所 木下公民館 箕輪町大字中箕輪木下11393-1



問合せ先 SOSネットワーク上伊那事務局

TEL080-6935-1895 (月~土曜日 8:30~20:00)

上伊那医療生協内 TEL0265-79-8702 (月~金 8:30~17:00)